Market Letter 情報提供資料

カナダ金融政策（2023年10月）

2会合連続の政策金利据え置き

2023年10月26日

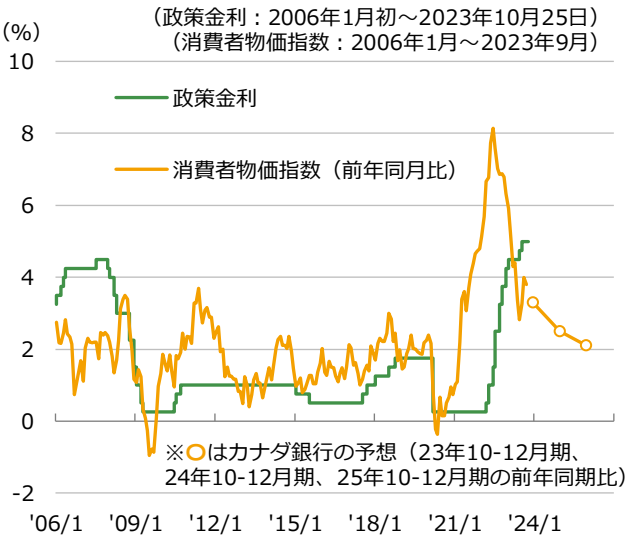
追加利上げ観測は後退したが、利下げのハードルは依然として高い

カナダ銀行（中央銀行）は10月25日（現地）に金融政策決定会合を開催し、市場予想通り政策金利を5.00%に据え置くことを決定しました。声明文では、「これまでの金融引き締めが消費を抑制し、インフレ圧力を緩和している兆候がより鮮明になったため」などと政策金利据え置きの理由を説明しています。

同行は今回、四半期に1度の経済見通しを更新し、実質GDP成長率見通しを引き下げた一方、インフレ見通しを引き上げました。今年前半の実績下振れや、金融引き締めによる個人消費および住宅市場の下押し圧力を考慮し、成長率は今年を1.8%から1.2%へ、来年を1.2%から0.9%へ引き下げました。現時点で経済の需要と供給はほぼ均衡しているが、実質GDP成長率は来年も潜在成長率を下回るとの評価です。一方、原油価格の上昇や構造的な住宅不足、企業の依然として積極的な値上げ志向などを理由に、インフレ率は来年央まで3%台半ばの推移が続く予想に引き上げており、利下げのハードルは高いことが示唆されました。その後、2025年にかけてはインフレ率が目標の2%へ緩やかに鈍化する見通しを維持しています。

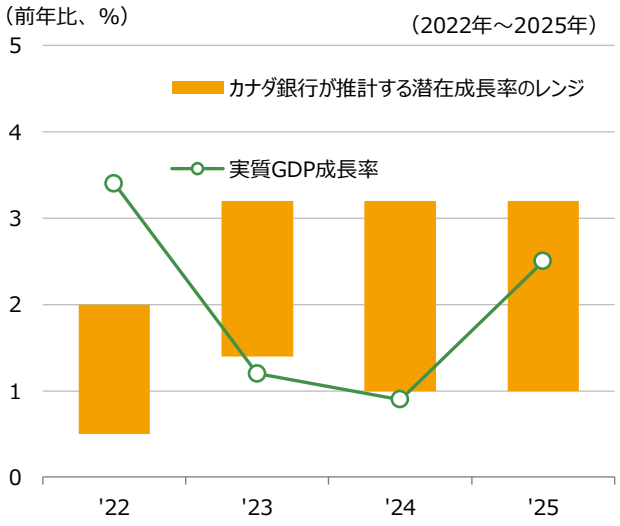
今後の方針に関しては「必要ならば更に利上げする用意がある」との文言を維持していますが、マクレム総裁は「必要以上に景気を冷やしたくない」とも述べているため、成長率やインフレ率が明確に再加速しない限り、当面は現行の政策金利を据え置いて様子を見る時間が続くと考えられます。利下げ開始は、インフレ率が3%台半ばから低下し始めると予想される来年7-9月期ごろが1つの目処になりそうです。

カナダ：政策金利と消費者物価指数



（出所）ブルームバーグ、カナダ統計局、カナダ銀行

カナダ：潜在成長率と実質GDP成長率



※22年は実績、23年以降はカナダ銀行の予想

（出所）カナダ銀行

当資料のお取扱いにおけるご注意

■当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。

■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。